

サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク 2022 年度活動計画

1. 2022 年度活動計画の基本方針

2022 年度（2022 年 4 月～2023 年 3 月）は、2020 年 3 月以来続いている新型コロナウイルスの感染拡大が収束していないことから、状況は 2021 年度と変わらないことが見込まれます。そのため、2021 年度と同様、オンラインも利用し、状況を見ながらハイブリッド方式も含め定例勉強会の開催や NSC ニュースの発行など、従来から取り組んでいる活動を継続します。

定例勉強会については、これまでと同様、環境・CSR コミュニケーションに関する最新情報を紹介し、なかでも「ビジネスと人権・人財」および「サステナビリティ情報開示」を大きなテーマとし、関連するサブテーマで企画し、会員の皆様が実務に反映させることができるよう目指します。

2. 2022 年度活動計画

（1）勉強会の開催

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、今年度もオンラインによるセミナーも含め、年度内に数回開催します。国内外の最新情報やグッドプラクティスを紹介するなど、会員の皆様のニーズに合った情報を提供します。

（2）幹事会プロデュース企画

幹事会のプロデュース企画として、タイムリーな話題を取り上げてシンポジウム/セミナー等を他団体と協力しながら開催します。

（3）大学生・大学院生と企業との環境報告書ステークホルダーダイアログの実施

大学生・大学院生と企業との環境報告書ステークホルダーダイアログの実施を検討します。新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、NSC の学識者区分の会員となっている大学・大学院の教職員及び会員企業に対し、開催への協力を要請します。

（4）ニュースレターの発行

従来と同様、（一財）地球・人間環境フォーラム発行の月刊環境情報誌『グローバルネット』誌上に隔月（奇数月）、年 6 回にわたって NSC ニュースを掲載し、会員へ送付します。なお、情報誌は掲載月だけでなく毎月送付します。

（5）幹事会の定例開催

幹事会を 3 ヶ月に一度のペースで定例開催し、NSC の運営体制の強化を図ります。2022 年度からは企業会員の幹事も増やし、企業活動におけるニーズに応えられるような企画を立てられるよう目指します。さらに、必要に応じて臨時の幹事会も開催し意思決定体制を強化します。

（6）その他

NSC の活動と関わりの深い諸団体等との連携を深めます。諸団体の実施するイベント等に後援等の形で開催協力するとともに、それらのイベント等に NSC 会員が優先的に参加できるよう交渉等を行います。一方、NSC が実施する勉強会等に対しても諸団体からの開催協力を得られるように致します。

引き続き、環境監査研究会、環境経営学会、サステナビリティ日本フォーラムに企画協力及び広報を依頼します。